

今回は**認知症のお薬**について勉強していきましょう。



認知症の薬

認知症は症状の進行には**個人差**があり、初期の段階から高度の認知症に至るまでの期間は**3・4年～10年**程度と様々です。

現在、認知症により**失われた記憶能力や精神機能を回復する治療法はありません**が、より早期の時点からの適切な治療によって**症状の進行を遅らせる**ことができます。治療していても病気は徐々に進行していきますが、症状の進行を遅らせることで認知症の方がご本人らしく生きることのできる時間を長くし、**ご家族・介護者の負担を軽減**することにもつながります。また薬物療法を開始しても症状の変化がみられず効果が実感できない場合でも、何も治療しない場合より**症状の進行を遅らせている**可能性があります。



また、**服用を急に中止**してしまうと、治療をしていなかった場合と同等の状態まで症状が**急に悪化**してしまう場合があります。**自己判断で中止せず**、主治医の先生と相談しながら治療を受けましょう。

2016年現在、日本国内では認知症の薬としては**4種類**が認可されています。それぞれのお薬について詳しくみていきましょう。

アリセプト

早期に使用を開始すれば、アルツハイマー病の進行を**2～3年遅らせることも可能**とされています。

主に、認知症の**記憶障害に効果**がありますが、**幻視や妄想にも効果**が出る場合があります。

ただし、症状を軽減する対症療法薬なので、病気そのものの進行を遅らせることはできません。

薬を飲むのをやめれば、飲まなかったときと同じレベルまで**急速に悪化**する可能性があるようです。

【用法】

1日に1回の内服

【副作用】

多い副作用として**食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢**などの消化器症状があります。



レミニール

長期間にわたって投薬しても効果が期待できるようです。また休薬によって認知機能が悪化しても、再投与することで機能回復できるとされています。特に**興奮・不安・脱抑制・異常行動などの症状を抑制**する効果が期待でき、**睡眠障害**も生じにくい薬とのこと。

【用法】

1日に2回の内服

【副作用】

副作用で一番多いのは、**吐き気や嘔吐、食欲不振、下痢、腹痛**など消化器症状があります。まれに脈拍が異常に遅くなるなど心臓に異常があらわれることがあるようです



イクセロンパッチ/リパスタッチ

「**進行を遅らせる**」「**症状を一時的に軽くする**」薬です。**貼り付ける**薬なので、**飲み薬を嫌がる患者**さんに有効です。消化器に対する影響が少なく、他の薬との影響も少ない治療剤です。

【用法】

1日1回**背部、上腕、胸部**のいずれかの皮膚に貼って、**24時間毎に貼り替えます**。

【副作用】

使用部位の皮膚症状です。**赤くなったり、かゆくなること**がよくあるようです。何度も同じ場所に貼ると副作用が出る可能性が高いため、**毎回場所を変えて貼る**必要があります。



メモリー

この薬は**他の認知症の薬を飲んでいても、追加**で飲むことができるお薬です。アルツハイマー型認知症が**中等度**まで進行した頃からこのお薬を飲むと、症状の**進行を遅らせられる**と言われています。特に**イライラや興奮、徘徊**などがある方に対し、効果があるというデータがあります。

【用法】

1日に1回の内服

【副作用】

とくに飲み始めに**眩暈（めまい）**が多くみられるようです。TEL 53-0810 FAX 53-3557
転倒につながるおそれがありますので、注意が必要です。

文責：林 美樹
せがわ薬局

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>

